

# 情報公開の一層の推進

当社は、事業活動の透明性を確保し、お客さまや社会からのご理解と信頼を得るため、迅速かつ的確に情報を公開します。

## 重点 取組み

- 原子力発電所の運転状況やトラブルに関するこれまで以上の迅速・的確な情報発信
- ホームページや携帯メールサービスなどを活用した台風等の非常災害時における情報提供の更なる充実



## お客さまや社会の安心感・信頼感につながる情報公開の推進

### 情報公開への取組み姿勢

当社は、経営の透明性を確保し、社会の信頼を一層高めるため、1999年4月に、情報公開に対する基本的な姿勢を示した「九州電力情報公開の心構え」を制定しました。この心構えのもと

- 経営情報
- 企業PR
- 原子力発電所や火力発電所のトラブル
- ヒューマンエラーによる供給支障事故

などについて、記者発表やホームページ等により、積極的に情報公開を行っています。

### ▼九州電力情報公開の心構え

当社は、企業としての社会的責任を深く認識し、「九州電力グループ行動憲章」に基づいた公平・公正な事業活動に徹するとともに、公益を担うものとして地域共生の基本理念のもとに、事業活動の透明性を確保し、お客さまのご理解と信頼を得るよう努めていかなければなりません。

このため、社員一人ひとりが、以下の心構えで、情報公開を推進していくこととします。

- 1 お客さまに対し、積極的に情報を公開しよう。
- 2 お客さまの気持ちに立って、わかりやすく、迅速、的確な情報公開を心掛けよう。
- 3 あらゆる機会を通じて、お客さまの情報ニーズを把握しよう。
- 4 お客さまとの間に意識・認識のズレが生じないように、常に自己点検しよう。

### 情報公開の推進に向けた グループ大での体制の構築

情報公開を推進するため、情報公開に関する規定文書の整備をはじめ、本店各本部から選出した情報公開責任者による「情報公開責任者連絡会議」を定期的に開催するなど、迅速かつ的確な情報発信に向けた体制の強化に努めています。

また、グループ会社の広報担当者をメンバーとした「グループ広報担当者連絡会議」を定期的に開催し、グループ大での情報公開の推進にも取り組んでいます。

2010年度には、情報公開責任者連絡会議や支社での事業所広報担当課長会議等を利用し、

- 情報公開関連基準の再周知
- 迅速な情報連絡

を図るよう周知・徹底を行いました。

また、支援ツールとして広報部イントラネットへ緊急事態等発生時の情報連絡ルートに掲載しました。

今後とも、情報公開の推進に向け、グループ大での理解促進や意識啓発を実施していきます。

## 積極的な情報発信への取組み

毎年、本店各本部や支社毎に情報の発信計画を策定し、記者発表やホームページ、パンフレット等による積極的な情報発信を行っています。

また、2009年2月に制定した、情報公開に関する業務運営の基本的な取扱いを定めた規定文書に則り、当社やグループ会社で発生した事故や企業倫理に反する行為など、公表しないとお客さまや社会にとって不利益となる情報については、迅速かつ的確に発信するよう努めています。

## 社長定例記者会見、記者発表の実施

当社の事業活動や原子力発電などへの理解促進を図ることを目的に、社長記者会見や記者発表により、積極的に情報を発信しています。

また、正確な報道に繋がるよう、報道機関を対象とした現場公開や見学会、説明会などを実施しています。

▼公表しないとお客さまや社会にとって不利益となる情報の発信実績(2008年度～2010年度)

	2008年度	2009年度	2010年度
供給支障関係	5	17	23
原子力関係	7	3	3
設備トラブル	1	7	7
その他	5	5	2
合計	18	32	35

### 【主な内容】

- ヒューマンエラーによる供給支障事故
- 玄海原子力発電所3号機の1次冷却材中のよう素濃度の上昇
- 苓北発電所第2号機の運転停止

▼記者会見・報道機関を対象とした現場公開等の実績

2010年度実績		
記者会見	13回	・社長定例記者会見 ・電気事業連合会での社長、副社長記者会見
記者発表	321件	—
現場公開	4回	・離島マイクログリッド設備竣工式 ・メガソーラー大牟田発電所安全祈願祭など
見学会	14回	・玄海原子力発電所、川内原子力発電所など
説明会	8回	・今夏の需給見通しについてなど



## 非常災害時における広報対応の更なる充実

台風等の非常災害時には、お客さまからの電話でのお問い合わせにお答えするとともに、報道機関やホームページ等を通じて広く停電情報の提供を行っています。

また、2006年には、携帯電話版ホームページを使った非常災害時の停電情報の提供を開始し、2007年7月からは、停電戸数などの情報を、県及び市区町村単位で提供するとともに、台風通過後速やかに復旧見込みの提供を行うなど、停電情報の内容充実に努めてきました。

さらに、2008年1月には、更なるお客さまサービスの向上を図るため、『九州電力携帯メールサービス』を開始しました。本サービスは、事前に会員登録いただいたお客さまの携帯電話へ、非常災害時に停電情報などをメールでお知らせするものです。また、停電情報以外に、緊急時の省電ご協力のお願いや原子力発電所の運転状況のお知らせ、当社イベント、省エネなどのお役立ち情報もお届けしています。

### ▼画面表示例

【パソコン版】

アドレス：<http://www.kyuden.co.jp/>

九州電力 | 停電情報

ご注意ください！ 切れた電源には、絶対にさわらないでください。必ず、近くの営業所へご連絡ください。

停電情報

台風4号の影響で鹿児島県内で停電が発生しています。7月14日20時現在、約10.7千戸が停電しています。台風通過後、強風の収まった地域から、全力を挙げて早期復旧に努めています。なお、高圧配電線の停電が原因とした地域であっても、ご家庭への引き込み線の経路等により停電している場合があります。

九州全域 > 鹿児島県 > 大隅地方

2007年07月14日20:00現在

停電率 0% 0.1~5% 5~10% 10~20% 20%

鹿屋市

詳細データ 停電地区一覧

総戸数	83.7千戸
停電戸数	0.3千戸
停電率	0.3%
復旧見込み	7月15日夕方まで
備考	設備被害状況について現在調査確認中です。

鹿児島県

鹿屋市

詳細データ 停電地区一覧

停電地区一覧

下高隈町、吾平町、串良町、細山田

【携帯電話版】

アドレス：<http://kyuden.jp/>

停電情報 > 鹿屋市

台風4号の影響で鹿児島県内で停電が発生しています。7月14日20時現在、約10.7千戸が停電しています。台風通過後、強風の収まった地域から、全力を挙げて早期復旧に努めております。

2007年07月14日20時現在

- 停電戸数 0.3千戸
- 停電率 0.5%
- 復旧見込み 7月15日夕方まで
- 備考 設備被害状況について現在現場確認中です。
- 停電地区 下高隈町、吾平町、串良町、細山田



携帯電話版  
2次元コード

## 原子力関係情報の迅速・的確な発信

### 原子力関連情報の発信

原子力発電所の運転状況やトラブルに関する情報などについて、記者発表やホームページの掲載を通じて、迅速・的確な情報発信を行っています。

#### 原子力情報の公開状況(2010年度実績)

##### 1 2010年度の原子力関係記者発表件数：43件

発表件名	件数
原子力発電所の定期検査関連(定期検査開始、発電再開、通常運転復帰)	16
玄海原子力発電所3号機のプルサーマル関連	8
川内原子力発電所3号機の増設計画関連	4
川内原子力発電所2号機の蒸気発生器取替関連	2
原子力発電所の新燃料・使用済燃料等の輸送関連	5
事故・トラブル	0
その他	8

##### 2 インターネットホームページへの掲載内容

- 原子力発電所の概要
- 原子力発電所の運転状況、定期検査状況
- 原子力発電所のトラブル情報
- リアルタイムデータ(発電機出力、放射線データ)
- プルサーマル関連情報(燃料の健全性を示すよう素濃度測定結果等)
- 東北地方太平洋沖地震発生に伴う当社原子力発電所の対応状況

##### 3 PR館原子力情報コーナー

- 九州エネルギー館、玄海エネルギーパーク及び川内原子力発電所展示館に設置された「原子力情報コーナー」では、当社の原子力発電所に関するさまざまな情報を公開しています。

公開資料(例)	備考
当社原子力関係公表文	自由に閲覧
原子炉設置(変更)許可申請書	〃
定期安全レビュー報告書	〃
原子力発電所データ集	〃
原子力事業者防災業務計画	〃
安全協定	〃
トラブル報告書	資料請求票に住所・氏名・連絡先を記入いただいた後、閲覧
原子炉施設保安規定	〃
耐震安全性評価結果	〃



## 福島第一原子力発電所事故を踏まえた広報活動

福島第一原子力発電所事故を踏まえ、

- 東北地方太平洋沖地震に対する当社の対応状況
- 緊急安全対策実施状況の国への報告
- 国からの緊急安全対策の評価

など、当社原子力発電所の安全性についてご理解いただくため、発電所立地地域の皆さまを始め、周辺自治体においても、首長、議員、オピニオンリーダー等の方々に対する説明・訪問活動を実施しています。

また、訪問活動の他、全九州のお客さまを対象として

- 新聞広告
- ホームページへの資料掲載
- 記者発表

などによる理解活動を実施しています。

今後も、様々な機会を捉えて情報発信を行い、皆さまのご理解や信頼を得られるように努めていきます。

### TOPICS

## 原子力発電所での緊急安全対策訓練及び外部電源復旧訓練の公開



東北地方太平洋沖地震に起因する東京電力福島第一・第二原子力発電所事故に係る経済産業省からの指示に基づき計画した緊急安全対策訓練及び自主的な取組みとして計画した外部電源復旧訓練について、地元、自治体及び報道機関に公開しました。

### ○緊急安全対策訓練公開の概要

- 1 実施月日 2011年4月8日～12日、18日  
公開月日 2011年4月12日、18日
- 2 訓練内容
  - (1) 高圧発電機車による電源供給訓練(発電所構内)
  - (2) 仮設ポンプによる冷却水供給訓練(発電所構内)
  - (3) 全交流電源喪失時の運転操作対応訓練(原子力訓練センター)



緊急安全対策訓練の公開の様子

### ○外部電源復旧訓練(自主訓練)公開の概要

- 1 実施月日 2011年4月16日～18日  
公開月日 2011年4月18日
- 2 訓練内容
  - (1) 移動用機器による送電線から非常用高圧母線への電力供給訓練(発電所構内)
  - (2) 引込鉄構・鉄塔 仮復旧訓練(発電所構内)



外部電源復旧訓練(自主訓練)の公開の様子

## 株主・投資家ニーズを踏まえたIR活動の推進

株主・投資家の皆さまとの双方向コミュニケーションの充実により、信頼関係の構築と満足度向上を図るため、「IR基本方針」を定め、その基本姿勢と行動指針に沿った様々なIR活動を推進しています。

また、当社のホームページにおいて、各種説明会資料やIRツール、財務情報、株式情報などを公開するなど、会社情報を積極的かつわかりやすく開示するよう心がけています。

さらに、株主総会においては、

- インターネットによる議決権行使の仕組みの導入
- 事業報告のビジュアル化

を行うなど、株主の皆さまの視点に立った参加しやすくなりやすい総会の運営に努めています。

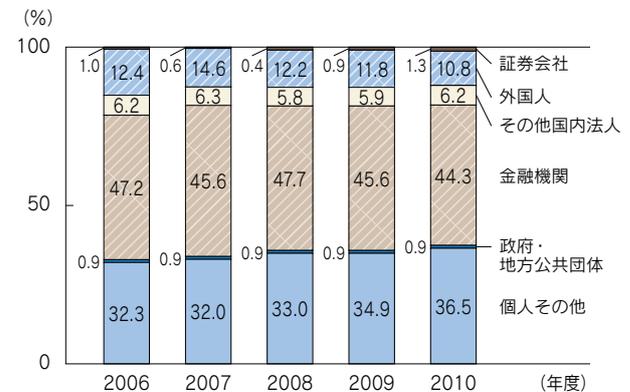
[ホームページ](#)

[トップページ](#) → [株主・投資家の皆さま](#)

### ▼主なIR活動

対象	内容
アナリスト・機関投資家	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営計画説明会</li> <li>・経営概況説明会</li> <li>・国内機関投資家訪問</li> <li>・海外機関投資家訪問</li> <li>・施設見学会</li> <li>・経営層とのスモールミーティング</li> <li>・IR関連情報英訳版のホームページへの掲載</li> </ul>
個人投資家	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説明会の実施</li> <li>・施設見学会(株主向け)</li> <li>・各種媒体を通じた株主・投資家への情報発信</li> </ul>

### ▼持株比率



## IR基本方針

### 基本姿勢

- ◆当社は、経営品質を高め、企業価値の持続的向上を図ることによって、株主・投資家の皆さまの満足度の向上に努めます。
- ◆積極的な情報開示や双方向のコミュニケーションを継続的に実施することにより、資本市場から適正に評価していただくとともに、株主・投資家の皆さまとの信頼関係を構築します。

### 行動指針

#### ◆適時・的確かつ積極的に伝えます — 透明性の高い情報開示 —

- 法令を遵守し、適時・的確に開示します。
- 投資判断に必要な会社情報を積極的かつわかりやすく開示します。
- 開示情報へのアクセス機会の公平性を確保します。

#### ◆皆さまの意見を適切に活かします — 双方向コミュニケーションの重視 —

- 当社からの情報開示だけでなく、株主・投資家の皆さまとの双方向のコミュニケーションを重視します。
- 株主・投資家の皆さまからのご意見やご要望を社内にフィードバックし、業務運営に適切に反映させていきます。

#### ◆全社一丸となって取り組みます — 組織的なIR活動の実践 —

- IRは、経営の重要事項の一つであると認識し、経営トップのリーダーシップのもと、全社一丸となった活動を展開します。
- 効果的な双方向コミュニケーションの前提となる全社IR意識の向上に努めます。